

令和6年度入学生 キャリア教育全体計画（全日制）

1 全体目標

○ 望ましい勤労観、職業観を育み、自らの未来を切り拓いていける生徒を育成し、それぞれの進路希望の実現をはかる。

2 現状・課題

県外への進学者が多数を占める中で、地元に戻る者が極めて少ないのが現状である。地域の発展のためにも地元企業の魅力を高校在学中に理解する機会が必要である。H30年度より郡内企業を知る取り組み（木曾町企業説明会）を独自に実施し、改良を重ねる。

3 つけたい力

【基礎的・汎用的能力】人間関係形成・社会形成能力、自己理解・自己管理能力、課題対応能力、キャリアプランニング能力を含める。

- a 自己の在り方、生き方を考え、将来設計に取り組む力
- b 卒業後の進路を選択し、それを実現できる力
- c 社会的・職業的自立に必要な基礎力 【基礎的・汎用的能力】
 - c 1 コミュニケーション力
 - c 2 自他の理解力
 - c 3 課題探究力
 - c 4 キャリアプランニング力

4 内容

指導項目	指導方針〈対応する項目〉
①自己の在り方、生き方を考え、将来設計と社会参画の意識を醸成する	ア 教育活動・学校生活全体をキャリア教育の場と捉える。生徒にも意識させる。 イ 各取組の繋がりを意識し、3年間の系統的な指導を行う。
②仕事や社会で必要となる力(基礎的・汎用的能力)を育む	ウ 講演会や就業体験活動等は事前・事後指導、特に振り返りと身についた力(基礎的・汎用的能力)の確認をする。〈②, ③〉
③様々な学習や体験を通して勤労観、職業観の形成を促し、将来の職業を考える	エ 年度末に評価(教員、生徒自身)を行い次年度の取組や指導に活かす。 オ 社会や世界の様々な現実や課題、人間の生き方について考えさせる。〈①〉 カ 知識、技能の習得と思考力、判断力、表現力等の育成のバランス、言語活動の充実を図る。学んでいることと社会のつながりを意識させる。〈②, ④〉
④卒業後の進路を選択し、実現をめざす	キ 家庭や地域社会、産業界等の力を活用する。就業体験活動等、地域社会での体験活動を推進する。〈②, ③〉

指導場面等	指導計画・キャリア教育の視点等〈実施学年〉
教科の授業	<ul style="list-style-type: none"> ・思考力、判断力、表現力を育成するため、意見交換、課題の発見・解決、プレゼンテーション、ディベート等双方向型、協働型の活動を導入する。 ・内容を、身近な事や物と関連づける。 ・各種検定を通して具体的な学習目標を見つける。
総合的な探究の時間	<p>1年次の活動 哲学対話 【普通科】 自ら興味や疑問を持って社会に目を向け、探究活動を通して知る喜びを実感するとともに、社会における自分の役割や得意を見つけ、育てる。また情報を集め分析し、まとめたり発表したりする力を伸ばす。</p> <p>1年次の活動 探究ガイダンス、産業界講演会への参加、NIE活動、地域探究。 2年次の活動 グループでの探究活動。4学科発表会への参加。 3年次の活動 個人での探究活動。普通科探究成果発表会の実施。</p> <p>【理数科】 1・2年次の活動 ・理数探究基礎(1年)・理数探究(2年)で代替：自らの興味・関心・進路に基づいた探究活動を通して、研究に必要な自然科学の基礎知識と研究論理を身につけさせる。</p> <p>【森林環境科】 【インテリア科】 3年次の活動：3年次の課題研究(3単位)で代替 ・専門分野の見方・考え方を働かせ、課題の発見、解決する力を養うとともに、産業の発展や</p>

	<p>社会貢献に主体的・協働的に取り組む態度を養う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題研究で企画力、発想力、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力等を養う。
<p>特別活動</p>	<p>【4科共通】1年次の活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新入生オリエンテーション社会人マナーの学習 ・未来の学校哲学対話地域の匠の話から自分を知る学習 ・地域を知る学習(1・2・3年) ・芸術鑑賞芸術に触れ合う学習(1・2・3年) ・文化祭準備世界文化の学習を含め木曾青峰の高校の文化をつくる(1・2・3年) ・校内進路ガイダンス企業・学校を知り自己の将来を探る学習 ・人権学習SSTの実施 コミュニケーション能力の育成 ・2年次の教科コース文理説明と進路研究希望調査 ・防災訓練 災害を知り個人、集団を守る学習(1・2・3年) ・4科合同発表会で発言者の姿勢を学ぶ ・性教育講話 命をつなげるための学習 ・木曾郡内企業説明会・進路研修会地域の企業を学習 ・小論文入門文章の組立表現方法を学ぶ <p>2年次の活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報モラルを学ぶ ・進路研究企業・学校を調べ自己の将来の方向を探る学習 ・小論模試意見や考え手法等を伝える効果的な論述法を学ぶ ・3年次の科目選択の研究と希望調査 ・4科合同発表会の発言者の考えを理解し自己の意見をまとめる力をつける ・修学旅行事前学習平和・歴史・地域への理解と、現地での体験的学習 ・第一志望決定の事前学習 ・進路講話進学・就職をより具体的に考える <p>3年次の活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進路ガイダンス自己の進路を具体化する ・校内進路ガイダンス就職者説明と対策、進学者共通テスト説明と対策 ・性教育講話命をつなげるための学習 ・進路ガイダンス上級学校への研究・入試研究 ・薬物乱用防止学習薬物乱用から心身を守る学習 <p>【普通科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・薬物乱用防止学習 薬物乱用から心身を守る(普通・理数の2、3年) ・進路講話(普通・理数) ・学習到達度の確認と必要に応じた補習対応 ・進路実現に向け具体的行動 ・学力試験、面接試験への対応 ・進路研究(普通・理数) <p>【理数科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・薬物乱用防止学習薬物乱用から心身を守る(普通・理数の2、3年) ・進路講話(普通・理数) ・3学年次の選択科目の研究 ・学習到達度の確認と補強部分の確認 <p>【森林環境科】【インテリア科】</p> <p>1年次の活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業生進路講話(1・2・3年) ・コース選択、進路の研究と選択。 ・自己理解と表現力向上のための資格取得指導。 ・企業・大学連携、知的財産、望ましい職業観や勤労観育成のためのインターンシップ実施。 <p>3年次の活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スーツ着こなし講座身だしなみ学習(森林、インテリア科)

<p>校外の体験活動</p>	<p>【4科共通】 〔1〕赤沢自然休養林散策(地域学習):1年次5月 〔2〕進路体験旅行:1年次12月 ・事業所と上級学校において、希望者別に体験学習を行う。 ・上級学校ではできるだけ実験・実習に参加する機会や卒業生の進路講話を含める。 ・事業所ではできるだけ体験学習を企画する。 〔3〕県内進路見学会:2年次5月 ・地域学習の一環として行う。 ・分野別に希望をとり、体験学習を行う。 〔4〕オープンキャンパス・事業所見学:開催日、または長期休業中 ・説明会、卒業生との懇談を通し、レポート作成する。 〔5〕夏期休業就業体験:2年次夏期休業 ・就業体験活動、看護体験、福祉施設体験におけるインターンシップ。 ・ジョブシャドウイングによる職業体験。</p> <p>【森林環境科】【インテリア科】 1年次の活動 ・地域理解のための活動として演習林や展示施設史跡の散策・見学 ・関係学科企業見学・学校見学 2年次の活動 ・就業体験活動、資格取得等 ・各種学校説明会、オープンキャンパス(2・3年) ・企業連携・大学連携・知的財産研修 ・インターンシップ・事業所見学 3年次の活動 ・就職進学活動 ・農業クラブとしての活動 ・地域イベントへ参加し生徒作品の販売学校PR</p>
<p>地域や産業界等との連携</p>	<p>〔1〕木曽郡内企業説明:1年次11月 ・木曽郡内事業所説明会への参加。 〔2〕進路ガイダンス:1・2年次3月 ・地元企業人、大学・短大・専門学校教授、卒業生を招き、分野別の体験授業を行いレポート作成する。 ・2年間で4分野が選択できる。 ・進路指導係が立案、全校職員で実施する。 〔3〕進路別ゼミ・研究会:進路係と学年との判断で必要に応じ最適な機会に行う。 ・進路希望に基づき希望者をグループ化し、進路先や希望分野ごとの情報入手の場にする。 ・校内の講師のほか、外部講師を招いたレクチャーを計画する。</p>
<p>評価</p>	<p>・県教委の実施する「生徒意識調査」の活用</p>
<p>中学校との連携 (指導の継続性)</p>	<p>・中高連絡会の開催 ・中学校との授業研究交流(研究授業参観と研究会情報交換会)</p>
<p>校内の推進体制</p>	
<p>キャリア・パスポートの取組</p>	<p>校外活動の記録(1・2・3年)</p>

5 学年別指導計画

	1年	2年	3年
目標	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣の確立 ライフプランの作成に着手 	<ul style="list-style-type: none"> 体験を通じてキャリア意識を確立する。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒各自の進路活動で自己実現の進路を探究
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> 身だしなみ、挨拶、清掃、マナーを指導 進路ガイダンス 	<ul style="list-style-type: none"> 就業体験または体験入学の全員実施 進路ガイダンス 	<ul style="list-style-type: none"> 企業訪問、学校訪問 受験指導
評価	<ul style="list-style-type: none"> 面接 アンケート(取組の事前、事後) 意識調査(年度当初、年度末) 生徒意識調査(県教委) 	<ul style="list-style-type: none"> 面接 アンケート(取組の事前、事後) 意識調査(年度当初、年度末) 生徒意識調査(県教委) 	<ul style="list-style-type: none"> 面接 アンケート(取組の事前、事後) 意識調査(年度当初、年度末) 生徒意識調査(県教委)

	教科(月 教科 内容 学科)	総合的な探究の時間	特別活動	その他(面接・評価等)
1 年	【4科共通】 ・5月 地域学習 ・6月 芸術鑑賞 ・12月 進路研修	【4科共通】 ・1月 課題研究発表会・4科合同発表会	【4科共通】 ・4月新入生オリエンテーション ・5、10月防災訓練 ・6、7月文化祭準備 ・8月校内進路ガイダンス ・9月人権学習 SST ・9月2年次コース文理説明 ・10月性教育講話 ・11月木曾郡内企業合同説明会 ・1月小論文学習・4科合同発表会	面接
	普通科	探究の時間ガイダンス 産業人講演会への参加 問いをたてるワーク 地域探究 NIE 活動		
	理数科	理数探究基礎で代替	4科共通と同じ	4科共通と同じ
	森林環境科 インテリア科		地域理解のための活動として演習林や 展示施設史跡等の散策・見学 関係学科企業見学・学校見学 ・2月生徒作品展示会	・1月課題研究発表会 見学と意見交換 ・2月生徒作品展示会
2 年	【4科共通】 ・5月 地域学習 ・6月 芸術鑑賞 ・12月 進路研修・修学旅行	【4科共通】 ・1月 課題研究発表会・4科合同発表会	【4科共通】 ・4月情報モラルを学ぶ ・5月未来の学校哲学対話学習 ・5、10月防災訓練 ・6、7月文化祭準備 ・8月小論文模試 ・9月3年次の科目選択研究と説明会 ・7～12月修学旅行事前学習 ・1月第1志望決定事前指導・4科合同発表会 ・2月進路講話	面接
	普通科	・自らの興味・関心に沿った テーマで探究活動(グループワーク) ・4科合同発表会の参加 ・探究発表会①(クラス内)		
	理数科	理数探究で代替	4科共通と同じ	4科共通と同じ
	森林環境科 インテリア科 ・7月 実習(就業体験) ・8月 情報(センター研修) ・2月 実習(上松技術専門学校技能見学)		・就業体験事前学習準備	4科共通と同じ ・1月課題研究発表会 見学と意見交換 ・2月生徒作品展示会
3 年	【4科共通】 ・5月 地域学習 ・6月 芸術鑑賞	【4科共通】 ・1月 課題研究発表会・4科合同発表会	【4科共通】 ・4、5月進路ガイダンス ・5、10月防災訓練 ・6～7月文化祭準備・校内進路ガイダンス ・8月性教育講話・上級学校研究 ・9月入試研究・薬物乱用防止講座 ・11月進路入試研究出願指導 ・2月卒業式礼法指導	面接
	普通科 理数科	・探究活動のまとめ(普通科) ・普通科探究成果発表会(普通科)	・進路研究進路実現への具体的行動 ・薬物乱用防止 ・学力試験、面接試験への対応	
	森林環境科 インテリア科 ・11月 生徒センター発表	・課題研究(3単位)で代替える。 ・4月各自で工業的課題を抽出する。 ・1月 科内発表会	・スーツ着こなし講座身だしなみ学習	・林業大学校代表者から講評 ・技術専門学校代表者から講評 ・2月生徒作品展示即売会 技術専門学校校長賞、学校長賞 金銀銅各賞付与